

がれき撤去撮って紹介

宮城・大島中
写真サークル

瑞穂・汐路中で交流



気仙沼の被災状況を説明する大島中の写真サークルの生徒たち＝瑞穂区の汐路中で

東日本大震災から古里の復興を撮り続けている宮城県気仙沼市の大島中学校の写真サークルメンバーが二十五日、瑞穂区の汐路中学校を訪れ、交流した。大島中は気仙沼市沖に浮かぶ大島で唯一の中学。被災地の支援に取り組む瑞穂区の「日本メデイカルオアシス研究学会」の援助をきっかけに六月に写真サークルが発足し、生徒

九人が活動している。

今回、訪れたのは一年生五人と小山春幸教頭(五三)の計六人。汐路中は本年度の全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞した実力校で、部員六十人がクリスマス・ディスコ・キャロルや、ZARDのヒット曲「負けないで」を

披露した。

演奏の後、大島中の生徒たちは、がれきの撤去作業の様子を記録した写真や、大島の浸水被害の状況を示したマップを紹介した。村上裕二郎君は「演奏を聴いて元気をもらえたので、頑張りたい」と話した。(河郷丈史)